

「川崎病の治療抵抗例および心合併症発症例等に関する多施設後方視的検討」
のお願いとお知らせ

川崎病の重要な合併症として、冠動脈瘤（こぶ状の拡大）など冠動脈病変と呼ばれる心後遺症が知られています。現在ではガンマグロブリン大量療法とアスピリンの有効性が証明され、これらの治療により冠動脈病変の発生率は減少しました。しかし未だ冠動脈病変は10%の症例に発生しており、さらに冠動脈病変発生率を改善するための新たな治療戦略が求められています。

本研究は当院を含む7医療機関（防衛医科大学校病院、越谷市立病院、聖隷佐倉市民病院、富山大学病院、西埼玉中央病院、浜松医科大学病院、宮崎県立宮崎病院）における川崎病患者さんの臨床データを集積・一括し大規模データの臨床経過を分析することで、より有効な治療指針を確立する事を目的としています。当院においては、2006年10月1日から2016年9月30日の期間に入院された川崎病患者さんを対象とした後方視的研究（過去の診療記録等から、さかのぼって調査・検討すること）により実施いたします。これまでの外来及び入院治療での既存情報のみを用い、新たに研究のために患者さんから検体を採取したり検査を行う事はありません。

患者さんの臨床データはID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、その他通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。上記の期間に入院された川崎病の患者さん（または保護者の方）で、「ご自分の診察所見や血液検査・尿検査結果の臨床データを研究に使わないで欲しい」等のご希望があれば下記連絡先までご連絡を頂きます様お願い致します。

なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、当院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

研究内容について詳しくお知りになりたい方は下記連絡先までご連絡下さい。

連絡先：防衛医科大学校病院 小児科
金井 貴志
TEL:04-2995-1511 内線 2329